

# オンライン中間成果報告会 「居場所の包括連携によるモデル地域づくり」事業 ～2年間の成果報告と実践を踏まえたダイアログ～

## 一般社団法人タウンスペースWAKWAK



2023年4月25日(火)

(一社)タウンスペースWAKWAK

業務執行理事兼事務局長

岡本 工介

# 一般社団法人 タウンスペースWAKWAK



- 「ただいま～」と言える子どもの居場所づくり事業  
(学習支援・子ども食堂・子どもの夜の居場所・社会的養護の子どもたちのバックアップ事業)
- コミュニティ・ソーシャルワーク事業(相談・包括支援)
- 障がいのあるないを超えてアートを学ぶ「ボーダレスアート事業」
- 高齢者・障がい者のライフサポート事業
- 大阪北部地震後の被災者支援から地域コミュニティ再生事業
- 市域広域事業
- 調査・研究開発事業
- 視察受け入れ/講師派遣事業

➡ 「ひとりぼっちのいないまち」(社会的包摂のまちづくり)をテーマに地域・家庭・学校・行政・大学・企業等45団体との連携により実施。  
組織は小規模ながら200名以上のボランティアに支えられているのが特徴。



# ○事業全体像図解

フェーズ3 2023年度

フェーズ2 2022年度

フェーズ1 2021年度

○第三の居場所  
ネットワーク  
(プラットフォーム)

○「担い手」発掘・育成(住民)

○「ESD」開発(公教育協働)

○調査による要支援状況  
可視化と発信(大学協働)

○みまもり・食べる  
ケアをつなぐ  
(食支援の仕組み)

○「担い手」の発掘と育成  
※住民→パントリー・ケア実施  
※大学生の専門職養成

○「ESD」授業実施

○調査による要支援状況  
可視化と発信(論文等)

○みまもり・食べる  
・学ぶ・ケアをつなぐ  
(食+学びの仕組み)

○「担い手」の発掘と育成  
※住民→パントリー・ケア実施  
※大学生→学習ボランティア

○「ESD」授業の普及

○調査による要支援状況  
可視化と発信(書籍化)

社会資源化  
ソーシャルアクション

インクルーシブコミュニティ・プロジェクト  
(多セクターの共創)による解決

支援対象児童等見守り強化事業  
(高槻市)  
インクルーシブ・コミュニティ構築  
事業(富田地域)

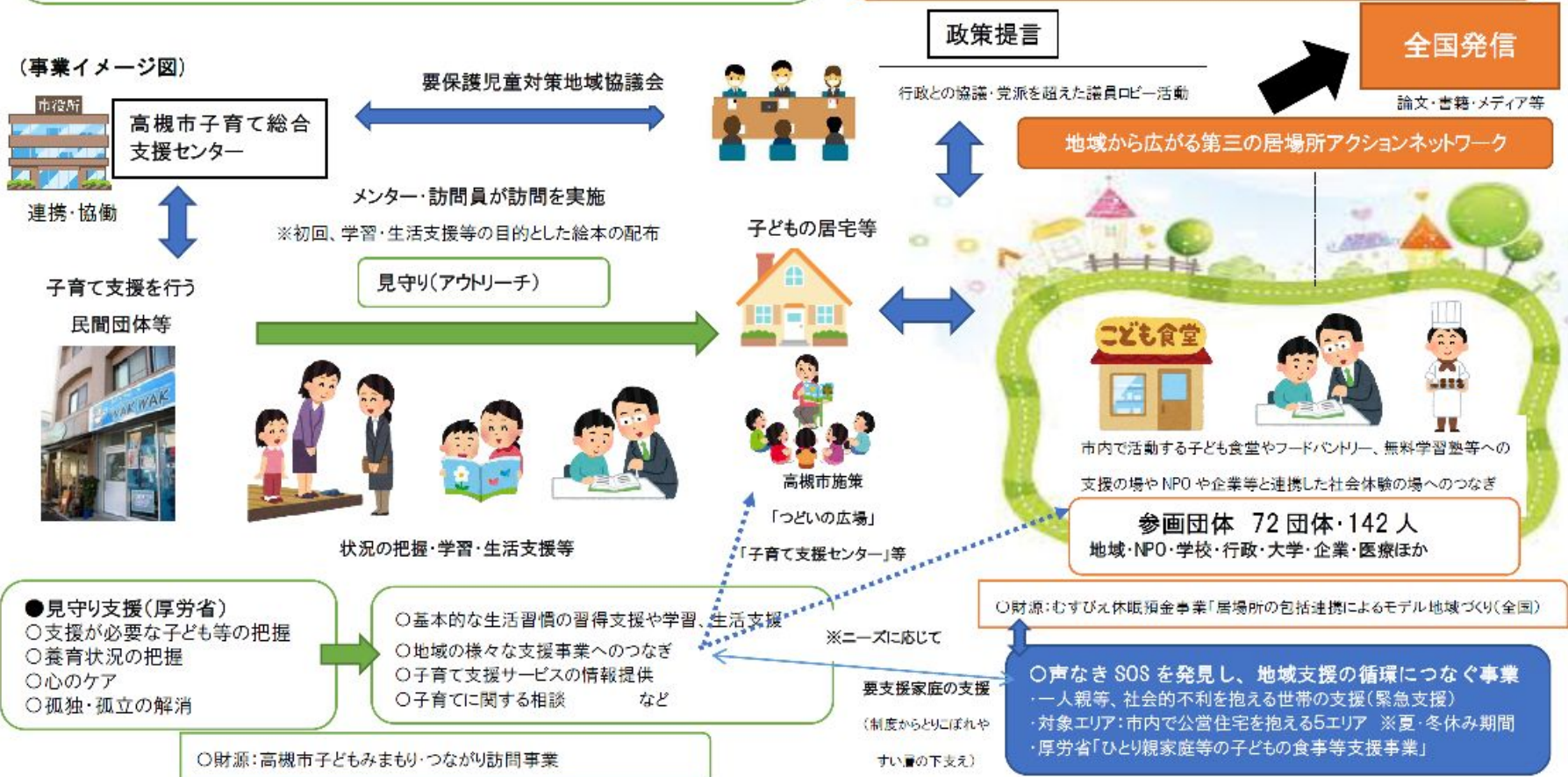
# 成果：高槻市域における官民連携による居場所の包括連携の仕組み

20230203

(高槻市域における官民連携による居場所の包括連携(厚労省支援対象児童等見守り強化事業×むすびえ休眠預金事業×厚労省ひとり親等支援事業)2022 イメージ図 タウンスベース NAKKAK

●高槻市子どもみまもりつながり訪問事業(厚労省支援対象児童等見守り強化事業)  
 新型コロナの影響により、子どもの見守り機会が減少し、児童虐待のリスクが高まっていることから、高槻市域において未就園児等(保育所等に通っていない原則2歳児～就学前の子ども)のいる対象家庭を訪問するなどし、状況の把握や学習及び生活支援等を通じた子どもの見守りを実施する。  
 (対象:高槻市域(人口約35万)、1エリア680人×2エリア・通年事業)

●むすびえ休眠預金事業「居場所の包括連携によるモデル地域づくり(全国)」  
 「つながる・食べる・学ぶ・生活を支える」をキーワードにした①第三の居場所ネットワーク、②フードパントリー、③学び支援、④大学、元保育所OG等と連携した専門職・担い手の育成と支援対象児童等見守り強化事業を並行して実施することで市域に官民連携による面(セーフティネット)を構築する。また、実践による知見を日本全国に発信する。(2021～3か年事業)



- 見守り支援(厚労省)
- 支援が必要な子ども等の把握
  - 養育状況の把握
  - 心のケア
  - 孤独・孤立の解消

- 基本的な生活習慣の習得支援や学習、生活支援
- 地域の様々な支援事業へのつなぎ
- 子育て支援サービスの情報提供
- 子育てに関する相談 など

○財源:むすびえ休眠預金事業「居場所の包括連携によるモデル地域づくり(全国)」

○声なき SOS を発見し、地域支援の循環につなぐ事業  
 ・一人親等、社会的不利を抱える世帯の支援(緊急支援)  
 ・対象エリア:市内で公営住宅を抱える5エリア ※夏・冬休み期間  
 ・厚労省「ひとり親家庭等の子どもの食事等支援事業」

## ○今後の展望

# 大阪府子ども食堂ネットワーク全体像 -実施体制および構造- (案)

